

納得と理解を得る説明のできる議会・市役所をつくる！
事業仕分けで税金は必要な分野に必要なだけ投じる！
「定数削減54」など負担増の前にやるべきことがある！
貧困解消に向けた自立支援で納税者となるチャンスをつくる！

納税者主義！！

なぜ「納税者主義！！」か？

議会は公共サービスの受け手・受益者の意向が強く反映されてきた。各議員が自分の支持者に税を配分することばかり考えてきたためだ。私は納税者の意向が強く反映されるべきだと考えている。議会は常設の行政改革機関だから、議会が変われば、役所も変わる。議会に納税者の意向を反映させ、効率的で無駄のない税金の使途の実現をめざしたい。



TEL : 048-886-2858
FAX : 048-873-3446
Eメール: doi@doih.net
〒336-0042 さいたま市南区大谷口2423
TEL 048-886-2858 FAX 048-873-3446
E-mail doi@doih.net HP http://doih.net

平成23年4月10日(日)は埼玉県議会議員一般選挙
さいたま市議会議員一般選挙の投票日です。
投票時間 午前7時から午後8時まで



さいたま市データ

人口 123万3043人
前年同月比9196人増
世帯数 52万8394
前年同月比7863増
面積 217.49k㎡

南区
人口 17万5717人
(平成23年2月1日現在)
世帯数 7万7540
面積 13.89k㎡
10区中一番人口の多いまち。

期日前投票
期間 平成23年4月2日(土)から4月9日(土)まで
南区 南区役所 1階多目的室(南区別所7-6-1)
午前8時30分から午後8時まで

南浦和駅市民の窓口 2階会議室(南区南浦和2-37-1)
正午から午後8時まで
南浦和駅市民の窓口には、
駐車場やエレベーター設備はありません。

ルールを守ろう！

- 1. 政治家の寄附禁止**
政治家(候補者、候補者になろうとする者及び現に公職にある者)は選挙区内にある者に対して寄附をすると処罰されます。
- 2. 政治家に対する寄附の勧誘・要求の禁止**
有権者が、威迫して、あるいは政治家を陥れる目的で寄附を求めると処罰されます。
- 3. 後援団体の寄附禁止**
後援団体が、選挙区内にある者に対して、花輪、香典、祝儀などを出すと処罰されます。
- 4. 時候のあいさつ状の禁止**
政治家は、選挙区内にある者に対し、答礼のための自筆によるものを除き、時候のあいさつ状を出すことが禁じられています。
- 5. あいさつを目的とする有料広告の禁止**
政治家や後援団体が、選挙区内にある者に対する有料のあいさつ広告を出すると処罰されます。



さいたま市選挙管理委員会 HP より

解体された既得権の壁
大切なのは次の4年間

この4年間は、後々、さいたま市政において語り継がれる期間となったのではないかと。市長が交代し、既得権の壁が解体されるとともに、議会が基本条例を定めて行政依存を改め自分の足で立つ宣言をし、さらには実際に事業仕分けまでを実施したのである。

市長の交代のインパクトは凄まじい。まさにさいたま市における政権交代となった。眠っていた議会が目覚めた感がある。清水市長就任1年半、混乱が続く。現在の議会審議は、市長に近いかどうかの政局的な争いの要素が強く、質の面で必ずしも高まっているわけではない。ただ確実に「脱・水面下政治」は進行している。

議会の自立。2009年12月、市議会は「議会基本条例」を可決。一言でいえば「脱・行政依存」宣言である。市長(行政)に依存せず、市民に立脚した議会に向けた指針を定めた。この条例は誰よりも市民のものだ。議会が道に迷った時には、市民がこの条例に沿って正しく導けばよい。市民の代表機関としての根拠が位置づいた。

私の所属する会派が主催して事業仕分けを実施した。この実施をめぐり、職員が説明員として関与することに異論を唱えるなど、他の政治勢力からの圧力は大変なものだった。それでも11月2日、実現した。全国3例目の快挙。議会が議会としての真の役割である監視機能を果たそうという試みが実現した瞬間だった。

こうして市政において、歴史的ともいえる3つの大きな変化が生じた。ただ、歴史には「揺り戻し」という恐るべきものもある。着実に進めた歩みをここで止めるわけにはいかない。国は混迷を深めるばかりだが、少なくとも市においては進んだ時計の針を逆戻りさせてはならない。

FROM EDITOR 名古屋のトリプル選挙の結果は、想像していたとはいえ、衝撃的なものでした。この現象は、さいたま市でも同様と受け止めていますし、市民はよほどのスピードでの変化を求めているのだと認識しています。振り返ればこの4年間、議会の「質」の改革を重視して行動してきました。まだ道半ばですが、市長交代や事業仕分けの実施など、私自身が参画した行動により、旧来の体制が解体されつつあり、それと軌を一にして新たな姿が垣間見えてきました。次の4年間、市民はどんな議会のあり方を選択するのでしょうか。

- 2007-2008 環境経済委員会
行財政改革推進特別委員会(副委員長)
- 2008-2009 総合政策委員会・予算委員会
- 2009-2010 市民生活委員会(委員長)・決算委員会
議会運営委員会(理事)・予算委員会
見沼田圃将来ビジョン特別委員会
- 2010-2011 市民生活委員会(委員長)
議会運営委員会・予算委員会
見沼田圃将来ビジョン特別委員会



さいたま市議会議員
土井裕之
無所属

ぜひ ホームページ
をご覧ください。 <http://doih.net>
ドイログ ツイッター @doihiroyuki
Doi-log

